

みなみ 正弘通信

舞鶴市議会議員

Vol.3

ごあいさつ

9月の定例会が終わりました。

懸案事項でありました副市長人事も議決されました。本来であれば3月の定例会で議決されるべきでありましたが、市長から「同じ志を持つ、同志を選ぶ」との発言があったことから、市長の言われるがままに市職員に対して指示命令するような人材では適切な修正ができず、行く行くは市の発展を阻害することにもなることからやむを得ず不同意としました。そして、6月定例会の人事提案においてもその方針を修正することもなく、市長の意のままに動く人材を入選したとの疑念を払拭することができずやむなく不同意としました。



しかし、9月定例会ではこれまでの発言や、ご自身のSNSへの投稿に対して自分が間違っていたと表明された事や、提案理由として、「幅広い行政経験を持って職員の実情に通じるとともに、私に対して素直な意見具申ができる人物が欠かせません」との発言がありましたので、我々の会派も一定の理解を示させていただきました。市長が第一の公約としておられる、「希望をもって住み続けられる持続可能なまちづくり」については、私ども自民党鶴政クラブ議員団も最終目標としているところであります。新しい副市長には、しっかりと市長を補佐していただき市民の皆様の安全・安心、そして舞鶴市の輝ける未来のためにご尽力いただきますようお願いいたします。

【一般質問】

- 一つ目は「不燃ごみ」についてです
- ・集積方法(含む回数)
- ・立ち番について(廃止)
- ・今後の代案について



上記3項目を質問しました。集積方法を考えて回数を増やす事については、具体的な回答はいただけませんでした。立ち番については、お年寄りや共働きの家庭にはつらいという声が出ていると申し上げましたが、不適切な排出が継続的に発生しているため、今後の推移を見ながら手法などについて検討してまいりたいと考えておりますと、こちらについても現状維持のお答えでした。今後の代案については、長期的な視野に立ち、慎重に検討する必要があると考えていますと、具体的な回答がありませんでしたので、引続き具体的な案が出るまで燃えるゴミの問題を含めて対応し、何故他の市町村でできることが当市ではできないのか要望してまいります。

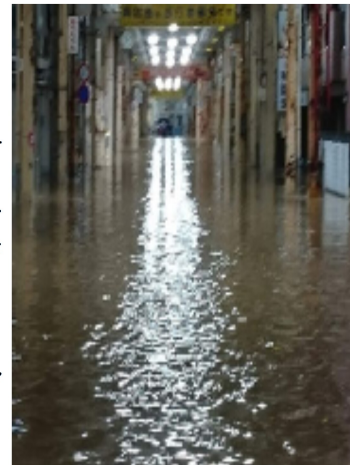
二つ目は「中学校の自動販売機の設置」についてです

熱中症予防のため市内中学校7校に設置されました。災害時には市が必要と判断した場合無償提供できるとの事です。しかし、同じ空間(学校内)義務教育の場で購入できる生徒、購入できない生徒がいるという現実、子供たちのそれぞれの表情を思う事は出来なかったのでしょうか。経済的に我が子にお金を持たせられないと言われるご父兄の声も聞いております。何より、自動販売機設置の前に、大型の冷水機や製氷機を設置するべきではないでしょうか。これに対する回答は日々の衛生管理メンテナンスが必要となり設置する事は考えていないとの教育総務課からの回答でした。子供たちの健康のためならメンテナンスをすれば良いと思うのは私だけでしょうか。また、熱中症を危惧されるのであれば体育館や理科室等へのエアコンの設置を進めていただきたいと思います。先の冷水機を含め、災害時には避難所としても利用されますが、先般の台風7号時のように酷暑で避難されるとなると寝ることもできないのではないのでしょうか。こちらについても継続して要望してまいります。



三つ目は「台風7号への市の対応」についてです

各種警報の発令を受け、22:13に「災害警戒本部」が設置されましたが、本部長(市長)は自宅待機で携帯で指示を出されていたとのこと、特に7号台風では大雨が予想されたため、14日の早くからポンプ場への配員を訴えていたにも関わらず、ポンプが起動したのは15日01:20となりマナイ商店街は浸水被害を受けました。ポンプ起動後は速やかに水が引きましたが、対応が後手後手ではないかと質問しましたが、危機管理課は着実に実施しており、災害対策に遅れが生じたという認識はありませんとの回答でした。



【黄色い旗】

私が、「事務所にいるのかいないのか分からない」というお声をいただきましたので、事務所にいる時は写真に写っている黄色い旗を入口に掲げることにしました。お気軽にお立ち寄りいただき、日頃疑問に思われていることや、これはどうなっている等の質問にお答えさせていただきます。また、各種のご要望につきましても市役所の担当課に伝え、住みやすいまちづくりのお手伝いをしてまいりますので、引続きよろしく願いいたします。



みなみ正弘後援会

〒625-0062 舞鶴市字森962番地

TEL(FAX)0773-65-2701

HP:<https://minami-maizuru.net/>

